

# リスクコミュニケーションアンケート集計結果（平成17年10月11日開催：山口市）

参加人数 160名  
 アンケート回答者数 92名 回答率 57.5%

Q1 ご自身について、ご回答ください。	
1 消費者	29 (31.5%)
2 食品等事業者	26 (28.3%)
1 農林水産業	4
2 製造・加工業	18
3 卸売業	3
4 小売業	1
5 業界団体	0
6 その他	1
3 マスコミ関係	0 (0.0%)
4 地方公共団体職員	22 (23.9%)
5 試験検査施設	6 (6.5%)
6 その他	9 (9.8%)

Q2 本日の意見交換会の開催について、何でお知りになりましたか。	
1 ホームページ	38 (41.3%)
1 厚生労働省	19
2 農林水産省	8
3 他ホームページ	4
2 新聞記事	2 (2.2%)
3 雑誌記事	1 (1.1%)
4 ポスター又はチラシ	2 (2.2%)
5 その他	46 (50.0%)
職場からの情報提供	
学内の宣伝	
生協からの案内	
厚生局より	
業界団体からの通知	
消費者団体から案内	
市役所からの案内	
食品安全委員会から	
組織内連絡	
消費生活センターより	
知人に聞いて	
県庁より	

Q3 本日の「食品に関するリスクコミュニケーション」に参加された目的は次のどれですか。（当てはまるものを全て）	
1 関係省庁の食品安全行政の取組の内容を知るため	33 (35.9%)
2 リスクコミュニケーションの取組について知るため	31 (33.7%)
3 輸入食品の安全性についての知識を深めるため	45 (48.9%)
4 残留農薬等のポジティブリスト制度についての知識を深めるため	70 (76.1%)
5 常日頃から抱えている食品の安全性に係る意見を行政に表明するため	4 (4.4%)
6 その他	1 (1.1%)

Q4 演者からの説明についてお伺いします。その説明内容について、十分に理解することができましたか。	
1 できた	18 (19.6%)
2 おおむねできた	63 (68.5%)
3 あまりできなかった	11 (12.0%)
4 できなかった	0 (0.0%)
SQ1 (Q4で「3 あまりできなかった」、「4 できなかった」と回答した方) 十分に理解することができなかった理由は次のどれですか。（当てはまるものを全て）	
1 用語など内容が理解しにくい	6
2 説明資料が見にくい	0
3 説明が聞き取りにくい	1
4 自分が理解していることとは異なる説明である	1
5 その他	
わかりやすく説明していただけたと思いますが、少し用語が難しかったです。 普段聞き慣れない内容なので、特に残留農薬について専門的に仕事にかかわっている人にはわかる話かもしれませんが。(消費者) 輸入食品の安全性について現状は述べられるが、その資料である統計が安全性を示すのに数字だけではかれないし、理解を得られない要素がある。(消費者)	

<b>Q5 本日のリスクコミュニケーションについてお尋ねします。意見交換は分かりやすく、議論の内容等について理解できましたか。</b>		
1 できた		14 ( 15.2%)
2 おおむねできた		55 ( 59.8%)
3 あまりできなかった		10 ( 10.9%)
4 できなかった		0 ( 0.0%)
<b>SQ1 (Q5で「3 あまりできなかった」、「4 できなかった」と回答した方)</b>		
<b>理解できるようにするためにはどうすればよいと感じますか。(当てはまるものを全て)</b>		
1 専門用語は解説を加えるなど、できるだけわかりやすく説明する		2
2 説明がだらだらと長いので、要点を簡潔に述べる		2
3 内容毎に区切って意見交換を行い、議論が拡散しないようにする		2
4 最初に全体的な意見交換の流れがわかるよう説明する		1
5 その他		
意見交換の時間が短い		
輸入業者の自由管理についてなかった。		
一度聴いてすぐに理解できるほど簡単な話ではないと思う。(消費者)		

<b>Q6 本日のリスクコミュニケーションの内容についてお尋ねします。満足できましたか。</b>		
1 できた		8 ( 8.7%)
2 おおむねできた		52 ( 56.5%)
3 あまりできなかった		18 ( 19.6%)
4 できなかった		0 ( 0.0%)
<b>SQ1 (Q6で「3 あまりできなかった」、「4 できなかった」と回答した方)</b>		
<b>理解できるようにするためにはどうすればよいと感じますか。(当てはまるものを全て)</b>		
1 最初の説明が難しく、理解が深まらなかった		2
2 意見交換の時間が短い		5
3 説明等が一方的で意見交換になっていない		2
4 論点がぼやけるなど、意見交換の進め方に問題がある。		5
5 意見交換して欲しい意見が取り上げられなかった		2
6 その他		
ポジティブリスト制度に関して農水からの方針がなかった。		

<b>Q7 以下のそれぞれの設問について、【意見交換会に参加する前】、【意見交換に参加して】当てはまるものを1つ選んでください。</b>		
<b>①輸入食品の安全対策の内容について</b>		
<b>【意見交換会に参加する前】</b>		
1 知っていた		61 ( 66.3%)
2 知らなかった		25 ( 27.2%)
<b>【意見交換会に参加して】</b>		
1 理解が深まった		60 ( 65.2%)
2 変化なかった		22 ( 23.9%)
3 わからなくなった		2 ( 2.2%)
<b>②輸入食品の安全対策について</b>		
<b>【意見交換会に参加する前】</b>		
1 安心していた		10 ( 10.9%)
2 どちらともいえない		48 ( 52.2%)
3 不安だった		26 ( 28.3%)
<b>【意見交換会に参加して】</b>		
1 安心感が高まった		18 ( 19.6%)
2 変化なかった		57 ( 62.0%)
3 不安感が高まった		6 ( 6.5%)
<b>③残留農薬等のポジティブリスト制度の内容について</b>		
<b>【意見交換会に参加する前】</b>		
1 知っていた		55 ( 59.8%)
2 知らなかった		31 ( 33.7%)
<b>【意見交換会に参加して】</b>		
1 理解が深まった		58 ( 63.0%)
2 変化なかった		22 ( 23.9%)
3 わからなくなった		3 ( 3.3%)
<b>④残留農薬等のポジティブリスト制度への印象について</b>		
<b>【意見交換会に参加する前】</b>		
1 安心していた		17 ( 18.5%)
2 どちらともいえない		48 ( 52.2%)
3 不安だった		18 ( 19.6%)
<b>【意見交換会に参加して】</b>		
1 安心感が高まった		28 ( 30.4%)
2 変化なかった		43 ( 46.7%)
3 不安感が高まった		10 ( 10.9%)

**⑤厚生労働省の取組（リスク管理やリスクコミュニケーション）について**

**【意見交換会に参加する前】**

1 信頼していた	12 ( 13.0%)
2 どちらともいえない	59 ( 64.1%)
3 信頼していなかった	9 ( 9.8%)

**【意見交換会に参加して】**

1 信頼感が深まった	23 ( 25.0%)
2 変化なかった	55 ( 59.8%)
3 不信感が深まった	1 ( 1.1%)

**SQ1 Q7の⑤で厚生労働省の取組について「3 信頼していなかった」、「3 不信感が深まった」と回答された方にお尋ねします。何が問題だと思われますか。**

0-157以降一切信用していない(行政関係者)

こういう話が表に出てこない。知らない人が多い。(消費者)

過去にアメリカではすでに禁止されているのに日本では放置されていたとか、後手後手に回って犠牲者を出すと言うことが何度もありました。鶴の一声がなければお役所は動かないのだという思いがしみついています。(消費者)

輸入品については、まだまだ不安が大きい。なるべく食べたくない。(消費者)

農業実情を十分把握して再考をお願いします。(その他)

最近食品の安心安全が叫ばれ、また法律等による規制も厳しくなっています。これ自体は良いこととは思いますが、そのことにより食品製造者側で何が起きているかをもう少し理解し、それに対する発言も欲しいと思います。安全性を担保する為に係るコスト(流通側からの要求等により)体力は益々落ちてきています。(中小企業は特に)産業を守る意味でも、消費者だけでなく両者の立場に立った検討をお願いしたい。(食品等事業者)

制度やシステムを動かすのは「人」です。今はその「人」への信頼がないのではないのでしょうか。(消費者)

輸入品については良い取組とは考えますが、国内では少し問題があると思う。やはり農水省との連携が取れていないと感じました。農水省のほうで現実を抱えていることを理解していないと思います。自給率を上げようというのであれば緩和ということだけでなく、もう少し農水省と協議する必要があると考えます。消費者保護は結構だが、実際に物をつくる立場の人のことを考えて欲しい。どうしても不安が残るのなら、消費者が自給自足してみればよい。(食品等事業者)

ドリフト対策は事業が組んであるというが、現場に下りていない。ドリフト対策についての説明がなかった。(行政関係者)

従前と同じように規制して、それが守られているかどうかの確認体制の整備と不安が強まった。(行政関係者)

## Q8 輸入食品及び残留農薬について、何が問題だと思われますか。

検査体制(輸入食品が今後更に増加するのに、それに検査が対応できるのか ポジティブリスト制度により項目数も増える)(行政関係者)

安全性について、対策が取られていることは分かっていますが、そのことが消費者には伝わっていない点が大いだと思います。(その他)

今回、ドリフトの問題が生産者にとって、難しいんだなと思いました。(その他)

必要以上に食品を輸入しているところに問題があるのではないかなと思う。(消費者)

ポストハーベスト

一律基準が守られていることの確認方法は、やはり分析DATAが基本になります。(大手メーカーは保証書でと言いますが、納入する中小企業は、保証書作成するために分析DATA入手する必要があり、今後多大なコストがかかります。ポジティブリスト制度のリスト記述物質名は多すぎる。(食品等事業者)

消費者の農薬嫌いとそれに同調する官庁

コーデックス基準と外国の基準を使用するとあるが、外国人と日本人の体質というのちがうと思うのですが、それをあわすのはむぼうだと思ふ。(消費者)

現在でも基準のない農薬が多くあり、暫定基準を採用してポジティブリストをスタートするということですが、農薬はこれから新しく開発されていくのではないかなと思いますが、基準見直しが進むのかと思います。(消費者)

国際基準、外国基準が日本にあてはめて安全かどうか分からない。農薬が検出された場合の情報が伝わってこない。(消費者)

かなり難しくハイレベルだと思いますが、大事なことばかりです。どうか万人に周知してもらえようお願いします。(用語をもっとわかりやすく)(消費者)

輸入食品の徹底した検疫所や監視指導が出来るしくみを考えるべき(消費者)

健康に害を及ぼすことが問題。農薬の量とか目に見えないので不安である。(消費者)

生鮮食品対応(購入、当日使用)(食品等事業者)

ドリフト問題が大変だ。消費者はどう受け取るのか? 0.01ppm、この数値の現実的残留レベルの説明必要。ドリフトに作物に登録の場合0.01ppm以上の数値で登録はほとんど可であろうと思われる。かたやドリフトにおいては農作物処分しなければならぬ大変さ。(その他)

検査点数そのものが少ない。(輸入農産物、食品に対して割合が低い。)(公務員)

残留農薬は出荷前の履歴調査があるようですが、それだけで判定せず実物の検査を十分にしたいと思ふ。(消費者)

輸入食品は危ないという。消費者の固定観念を解くことが大切だと思う。そのために輸入食品の実態を明確にする必要があるのではないかな。(公務員)

輸入食品の外国での生産現場について、たくさん農薬を使うとか良い風評を聴かないので信用していない。しかし食べざるを得ないものもある。つらいところですね。スーパーで売っていない生鮮食品を見てこんなに売れ残っているのにまだ輸入しているのかといつも思ふ。(消費者)

生産者(農家)は経営の安定面からも農薬は必要と思われる。農薬の安全性をもっと理解できる機会を増やして欲しい。(その他)

日本におろす直前に自分たちは使わない農薬をふりかけて検査をくぐり抜けていたという話をききました。輸出する分だけ消毒する?今はそういうことはないのですか?(消費者)

規制の網をすり抜ける(一部のみの検査)(消費者)

冷凍食品の現地加工について表示には「衛生的設備のもとで加工されています」と書いてあるけれど本当かしら?誰がチェックして記述を確かめるのですか?(消費者)

ドリフト対策の難しさがわかったが、何らかの対策が必要である。(行政関係者)

生産現場が見えないこと(食品等事業者)

健康、次世代への心配(添加物や農薬などは人間が摂取している期間が数十年と短期間だと思う。まだまだ考えてないような事が人間の身体に起こるか分からない。(消費者)

何を使っているのか、どのように育てているのか分からない。(消費者)

原産地表示 残留農薬の数値(消費者)

安全安心は地産地消(その他)

輸入食品(農作物を含む)に関して、化学物質の安全性に対する確かな基準を持たず、安易に海外の基準を用いようとする点。(行政関係者)

直接今回には関連がないかもしれませんが、ポジティブリスト制度についての生産者への説明。消費者への説明となっている。(行政関係者)

検査、検証体制(食品等事業者)

企業の利益追求と消費者の学習不足(行政関係者)

輸入農産物と国産産物は大きな価格差を生じているが、消費者としては安価な物を求める人が多い。今回のような意見交換会に出席されるような方は知識レベルが高く、現状を良く理解されているが、今後は何故国産農産物が高いのかなどを消費者に訴えるべきと思う。(食品等事業者)

農産物を含む輸入食品については、日本のマーケットに求められているから輸入され、販売されているものです。個人的には兼業農家である立場からして「国産だから安全」であるとは言えないと思います。行政の取組についてより広く周知されるような取組が必要だと思います。(食品等事業者)

分析結果でなく栽培履歴が大事(食品等事業者)

ポジティブリスト制になって、輸入時に全ての農薬について検査できるのか?作物によっては基準値を確保できないものがあれば、そのときはどうするのか?(食品等事業者)

輸入食品(特に中国の冷凍ホウレンソウ事件をきっかけに)に対する不信任はすぐにはめぐりきれないし、ポストハーベストや海外の基準が果たして日本国内で受け入れられるのか疑問(消費者)

分析法の見直しを早くすべきだと思う。約700の農薬の分析は困難が多いのでは。(試験検査施設)

国産農産物に比較して規制が軽いのではないかな(行政関係者)

モニタリング結果が出る前に輸入できることに問題がある。衛生証明を付けさせるべきである。(行政関係者)

ポジティブリスト制度が始まると農薬の分析項目が増えるが、すべてを分析することが可能か。(検査体制を確保できるのか)(行政関係者)

食品添加物や農薬として認識されてない物質の使用が本当にならないのか疑問(主に中国について)(食品等事業者)

残留農薬について検査機関としてポジティブリスト制度が導入された後、検査項目が増加すると思うが、標準品の管理等、かなり難しくなると思ふ。(試験検査機関)

残留農薬についてもというよりも途中で使用している過程が大切(食品等事業者)

①遺伝子組換え食品の混入(R因子のDNA配列が腸内細菌に取り込まれるかも)②海外で使用された農薬も0.01ppm以下にすべき。(輸入に依存しているから0.01ppm以下にすると混乱するではすまない。国内使用だけ0.01ppmに従うのは変ではないか)(行政関係者)

試験検査結果の信頼性と検査結果が出るまでの期間の長さ(試験検査施設)

問題の論点が立場で大きく異なる。客観的な論議と主観的な論議がかみあわない。(行政関係者)

業者への情報や理解がどれだけ進むのかが問題というより課題(食品等事業者)

検査体制(消費者)

法規制がまだ不十分(全般的に)。不明確な部分が多い(食品等事業者)

専門家だけでなく、一般消費者に周知させるにはどうしたらよいか問題だと思ふ。(消費者)

問題点を要請するでは変(行政関係者)

一般消費者の知識向上が必要(行政関係者)

生産者と流通業者の順法意識のなさ(行政関係者)

## Q9 本日のリスクコミュニケーションの進め方についてお尋ねします。

今回のリスクコミュニケーションでは、第一部をテーマに関する説明、第二部にパネルディスカッションと意見交換としています。リスクコミュニケーションの構成、テーマの選定、募集方法などリスクコミュニケーションのあり方全体について、良かったと思う点、改善すべきと思う点につき記載下さい。

### 1 良かったと思う点

消費者だけでなく生産者の意見も知ることができた。消費者としては農業の基準値が低い方がいいと考えてしまうけれど、生産する側にとっては難しくなることなのだと思います。(その他)

分かりやすい説明をして下さったところ(消費者)

こういう話を聞くことが出来たこと(消費者)

縦割りではなく、広範囲に考えを示し意見を聞く場としてはとてもよいと思う。ただ、もっと早くこういう動きをつくるべきだったのでは？少し遅いと思います。(消費者)

はじめにテーマについて理解が深まり、その後消費者の求める所、行政の考え方、方向性などが聞けた点がわかりやすくてよかった。(食品等事業者)

残留農薬のH13、H14の実態が正しく理解できた。(その他)

ポジティブリスト制度について考え方、今後の進め方について所管の部署から聞けた点(公務員)

関係各位に於いて真剣に取り組んでいる姿勢に感謝(消費者)

生産者(JA)が残留農薬等のポジティブリストに基本的に賛成の立場表明があったこと。(消費者)

検査機関があること、基準があること、食品の安全についてシステムがあること、初めて過程を知り、安心と同時に良い会が開催されました。広く広報し、より適切な生産、流通となっていく、余った食品等少なくなるような横のコミュニケーションはないものではないでしょうか。たくさんの有益な資料は役立たせたいと思いますし、ロコミでも伝えたい。(消費者)

消費者代表が私の思っていることを発言してくれてよかった。(消費者)

説明はいいのでわかりやすかった。理解が深まった。(消費者)

パワーポイントでわかりやすかった。すずみ具も良かった。初めて参加して勉強になりました。これからもっとたくさんのご意見を勉強していこうと思います。(消費者)

採択可能性の中に不安が溢れていた(その他)

消費者の声を生で聴くことが出来ました。ありがとうございました。(食品等事業者)

ホームページも含め、文章だけではわかりにくいこともわかりやすかったように思う。(食品等事業者)

消費者、生産者の声、とてもよかった(消費者)

今回の意見交換会は各立場の方々の話が聞けて大変良かった。生産者、消費者、農政、厚生それぞれの考え方があるのが良かった。(消費者)

様々な立場の人の意見が聞けた。(行政関係者)

ポジティブリスト制度についての説明だけでは理解しにくかったが、意見交換をきいているうちにいろんな立場により考え方が違うこともわかり、多少理解が深まった。(行政関係者)

生産者、消費者の生の声で多くの疑問を聞き、それに対して行政としての取組等を聞くことが出来る点。(試験検査機関)

パネルディスカッションという手法は良いと思う。視点の水準が下がるので。(行政関係者)

いろいろな立場の人が参加しており、問題とする点がそれぞれあることが認識できました。(試験検査施設)

テーマ(行政関係者)

整然としていた(行政関係者)

### 2 改善すべきと思う点

時間配分(説明の時間が押しすぎたため、意見交換、質問時間が足りなかった)(行政関係者)

パネリストの私情が感じられた。(その他)

テーマに関する説明時間を十二分に確保願いたい。(食品等事業者)

もっとふつうの人(主婦)がわかりやすくてほしい。とくに残留農薬ポジティブリストがわかりにくかった。(消費者)

対象に応じてもっときめ細やかに周知を図ることを行うべき。今日集まった人に話したことがリスクコミュニケーションに関して啓発されたことになるのか？現地、暮らす人、日々の生活者、農業者への対応は誰か？どこでか？を明らかにすべき(行政関係者)

時間的にゆとりがない(消費者)

主催者側の前半のプレゼンが20分もオーバーしたが、主催者側は自分たちで時間設定するのだから、守るのが常識。(消費者)

以前からこうした場に参加していますが、毎回同じ内容で得られる情報が少ない気がします。もう少し専門的な場を増やして欲しい。(食品等事業者)

拘束時間が長すぎる。早い時点からPRしてこの会を知らせ参加者を多くする努力が必要であった。空席がかなりあった。予定時間に終わって下さい。情報はホームページ以外に新聞がよい。(消費者)

消費者向けであれば土日につき

安全エクспレスのモニター募集がインターネットだけでなく、他に方法があるのではないか。インターネット時代ではあるが、まだまだ国民全体に広まっていないと思うので、モニター募集に関してはインターネットだけではいけない。(消費者)

日本食中心に取り上げて(その他)

回数を重ねることが必要と思う。(行政関係者)

消費者のみとリスクコミュニケーションするだけでなく、生産者ともリスクコミュニケーションするべきではないか？(行政関係者)

パネラーもしゃべりすぎる。(パネラーも2分以内かと思った。)会場の意見を聞く時間を増やして欲しい。(行政関係者)

パネリストにメーカー代表も出席して欲しい。(食品等事業者)

こちらの解釈がまちがっていたのかもしれませんが、これは単に消費者の方と行政の方のコミュニケーションの場ではないと思います。カロリーベースで60%を供給しているインポーターの仕事は無視されている。(食品等事業者)

時間的問題もありますが、2部制にして、1部は基礎的な会、2部は詳細を打ち合わせる会にしてはいかがでしょうか？いろいろなレベル、立場の人が参加しているので(食品等事業者)

わかりやすい国側の説明を望みます。パンフレットをたくさんつくり、誰にでもわかるように広告をして欲しい。(消費者)

意見交換の時間をもっと多くしてほしい。(行政関係者)

パネルディスカッションの内容は吉富氏対厚労省(他は中立)という構図で、その他の人にマイクが行くたびにリスクコミュニケーションから遠ざかった。いっそ消費者団体3名対厚労省3名の議論のほうがわかりやすく鳴ると思う。最終的に食育が大事で済ますのはちょっとおかしいのでは。(輸入食品部分)(行政関係者)

最初から時間を超過していた。(試験検査施設)

パネルディスカッションのやり方・説明の方法(行政関係者)

消費者代表だけでなく、業者代表も必要(食品等事業者)

一般消費者に対するPR、周知を考えてもらいたい。(消費者)

一般の意見も重視して。アンケート項目が多すぎ。(行政関係者)

会議室の方がいい。メモが取りづらい。

生産者をもっと呼ぶ(行政関係者)

Q10 今後の厚生労働省のリスクコミュニケーションとして行って欲しい課題は何ですか？（当てはまるものを3つ以内）	
1 食品中に混入する汚染物質（メチル水銀、ダイオキシン等）の問題	16 (17.4%)
2 食中毒に関する問題	8 (8.7%)
3 検疫所や保健所の監視指導に関する問題	16 (17.4%)
4 健康食品に関する問題（表示を含む）	26 (28.3%)
5 遺伝子組換え食品に関する問題（表示を含む）	20 (21.7%)
6 食品添加物に関する問題（表示を含む）	29 (31.5%)
7 残留農薬、残留動物用医薬品に関する問題（表示を含む）	30 (32.6%)
8 輸入食品に関する問題（表示を含む）	20 (21.7%)
9 上記以外の食品の表示に関する問題	7 (7.6%)
10 その他	
関連業者の自主管理	
食育含めて文部科学省にも登場してもらいたい。	
（その他意見）輸入食品は基本的に食べない。外食はほとんどしない。日本の農業を応援する。旬を食べることにしている。（消費者）	
重金属の問題	